

(様式1)

平成29年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 034	提案機関名 畜産技術センター
要望問題名 経口投与資材でふん由来の悪臭成分の低減	
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等）】 家畜を集約して飼養している畜舎で、家畜ふん由来の悪臭成分を低減させる方法は種々検討されているが、設備や経費が必要になってくるのが現状である。そこで、家畜から排せつされる時点で悪臭成分が低減していれば、排せつ後の臭気対策への負担も軽減されると推測できる。 介護やペットの分野では、経口投与で排せつ物に含まれる悪臭成分を低減する資材があるとのことなので、家畜に効果があるか研究願いたい。 また、同様の効果があり、産肉・泌乳・産卵等に影響がなく、安価で取り扱い易い資材について研究願いたい。	
解決希望年限	①1年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内
対応を希望する研究機関名	①農業技術センター <input checked="" type="checkbox"/> ②畜産技術センター ③水産技術センター ④自然環境保全センター
備考	

※ ここから下の欄は、回答者が記入してください。

回答機関名	畜産技術センター	担当部所	企画研究課
対応区分	①実施 ②実施中 <input checked="" type="checkbox"/> ③継続検討 ④実施済 ⑤調査指導対応 ⑥現地対応 ⑦実施不可		
試験研究課題名 (①、②、④の場合)			
対応の内容等 家畜から排せつされる時点で悪臭成分が低減する方法として、豚ふんの低級脂肪酸を低減する経口投与型の資材が開発され実用化しております。この資材を豚に一定量給与させることで低級脂肪酸量が6割軽減したとの報告があります（備考）。また介護やペットの分野では、経口投与で排せつ物に含まれるアンモニア及び硫黄化合物を低減する資材が実用化していますが、家畜への給与試験データは未発表のようです。 ご要望の「家畜から排せつされる時点で悪臭成分が低減する」資材の効果については、上記資材の開発メーカー等と情報交換を実施しており、共同研究に向けた協議中です。			
解決予定年限	①1年以内 ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内		
備考 尾上 武・下川智子・日下芳友・前田 稔・齋藤浩之・浅田研一：2015, 低級脂肪酸低減微生物 <i>Bacillus thuringiensis</i> D45 株の選抜, 日豚会誌, 52, 143-152.			